

【既定】	ワンウェイプラスチック使用削減に向けた取組の推進	予算額	10,463 千円
【既定】	資源の回収	予算額	2,628,754 千円
【既定】	ごみの減量と資源化の推進	予算額	96,541 千円

事業の目的・概要

循環型社会の実現を目指し、特にプラスチックに係る資源循環を促進するため、過剰な使用を抑制する等のリデュースやリユース、リサイクルの取組により、ごみ・資源の排出量の削減を図ります。

また、ワンウェイプラスチックの使用削減に向け、区立施設の給水スポットの拡充・マイボトルの普及促進や、新たな取組として、リユース容器貸出事業の実施及びリユース容器活用支援助成を創設するとともに、プラスチック資源循環促進法を踏まえた、プラスチックの分別回収のモデル実施を進めていきます。

主な取組内容

▶ イベント向けリユース容器貸出事業の実施

新規

区内団体等が実施するイベントに対し、リユース容器の貸し出しを無償で行うリユース容器貸出事業を試行実施し、ワンウェイプラスチックの使用抑制とリユース意識の啓発を図ります。

▶ 事業者向けリユース容器活用支援助成の実施

新規

テイクアウト用のリユース容器を導入する区内飲食店等を対象に、リユース容器の導入に係る経費の一部を助成し、事業者等が実施するワンウェイプラスチックの使用削減に向けた取組を支援します。

▶ プラスチック使用製品廃棄物の新たな分別回収（モデル実施）

新規

従来から、資源回収をしているプラスチック製容器包装に加え、製品プラスチックを含めた一括回収を行います。区内全地域での本格実施に向け、大宮1・2丁目及び松庵2丁目の3地域、約3,400世帯を対象に、令和6年10月からモデル回収を実施します。区民への周知等については、当該地域へチラシを配布するほか、町会・自治会と協力し、地域特性に応じた対応（掲示板への掲載や説明会の開催など）を行います。

また、ごみ・資源の排出状況を把握するため、モデル実施の前後で、対象地域を含めた家庭ごみ排出状況調査を行います。製品プラスチックと、混入した場合に火災事故の危険がある充電式（二次）電池及び二次電池使用製品の排出状況等を重点的に検証し、その検証結果を踏まえ全域実施につなげていきます。

➤ **区立施設の給水スポットの拡充・マイボトルの普及促進** **拡充**

ボトル対応型給水機を区役所本庁舎を含めた区立施設内に新たに4か所増設して15か所とし、給水スポットを拡充します。これにより、ペットボトルの使用削減の更なる推進とマイボトルの普及促進を図ります。



【ボトル対応型給水機】

➤ **食品ロスの削減**

更なるごみの減量に向けて、引き続き民間事業者との連携により、区と共に食品ロスの削減に取り組む「食べのこし0（ゼロ）応援店」の店舗数を拡充し、食品ロス削減の取組を効果的に推進します。

加えて、令和5年度から取組を開始した区内飲食店等における食べ残しの持ち帰り（mottECO）普及推進モデル事業を継続し、協力店舗における食品ロス削減みなし量算出を行う等、当該取組の成果を可視化して周知します。食品ロス削減に向けてmottECOの有用性に関する事業者の意識を高め、併せて利用者への普及・定着を図っていきます。



【mottECOポスター】



【mottECO容器】